

行動宣言

世界は今、新自由主義と資本のためのグローバル化によって、格差と分断に覆われている。分配の不公平さによって生み出された紛争や戦争、貧困は、人々から日々の人間としての営みの意味をも奪ってしまった。また、中産階級の世界的凋落は、煽動的な言葉に刺激され、かれら以上に持たざる者達への排除や攻撃へと向かい始めている。それでも、あまりにも肥大化した金融資本経済は、理性なき野獣のようにとどまるところを知らず、さらなる格差と分断の中に私たちを落とし込もうとしている。規制の枠組みは、その効力をはっきりと失いつつあるのだ。

日本においても格差と分断は、大きく私たちの日常にその暗い影を落としている。子どもの相対的貧困率や大学生の奨学金問題、声高に叫ばれるヘイトスピーチや津久井やまゆり園での許されざる事件…。出口の見えないことへの徒労感と諦め…。

資本が海外へ逃げないために、世界一企業が活動しやすい国にするためと為政者が発言するとき、それは、働く者にとっては、労働の意味や賃金、労働時間が限りなく無法に搾取されることでもあったのだ。経済が国家を超える姿は明確になり、政治はその目的を違えつつあると言える。そのため、格差や分断の問題は、巧妙に隠蔽され、異議を唱えることもできず、人々はただ窒息しない程度に息をしているだけなのかもしれない。

他方、日本は世界の中でもトップを切って縮小社会に突入した。だが依然として関東圏への一極集中はますます顕著であり、地方における地域経済とコミュニティの破壊は加速度を増している。地方と高齢者の切り捨てが、今はっきりと始まった。

熱に浮かされたように、それでも発展・拡大する社会を求め政治・経済の流れに、ゆがみはますます激しく、私たちを苦しめることになるだろう。

私たち Ed.ベンチャーは、教育支援グループとして、弱い立場に立つ子どもたちの支援に取り組んできた。それはある意味、現在の社会の中での「補完」的な役割を担うことであつたし、また、分配に生じた誤差を再分配し直す取り組みであつたとも言える。しかし、この数年の世界や日本の状況の変化を考えると、私たちは私たちの行動の原理を変えざるを得ないところに来ている。つまり、「補完」する立場から、「異議」を唱え、「提起」する立場へと移行するということである。

これからの社会が進むべき道を少しでも明確にしつつ、その視点から教育を、そして弱い立場に立たされている子どもたちをとらえ直していかなければならない。

- 1 Ed.ベンチャーは、成熟社会を目指し、競争的でない、多様性を認め、持続可能な社会を構築する視点から、教育や私たちの活動を見直します。
- 2 1の視点での実践や研究、支援を積極的に行います。
- 3 外国にルーツを持つ子どもたち、障がいを持つ子どもたち、貧困におかれた子どもたちへの教育支援を行います。
- 4 原子力発電への反対を表明し続けます。

ぜひ私たちの活動にご参加・ご支援・ご協力ください。

正会員 (①②のいずれか、総会での議決権があります)

- ①年会費 1口6000円 1口以上
- ②積極的に活動に参加している学生

賛助会員 (総会での議決権はありません)

活動に賛同する寄付 (任意の金額)
任意の金額のご寄付により、賛助会員となり、寄付をいただいた年は会員サービスを正会員同様に受けることができます。

■ 入会・寄付のお申し込み方法

入会申込書にご記入いただき事務局にお持ちいただくか、Eメールまたはファックス、郵送にてお送りいただき、下記の方法にて会費をご納入ください。入会申込書をお持ちでない方は、ホームページからダウンロードしていただくか、事務局にご連絡ください。

■ 会費納入方法

【年会費・賛助会費(寄付)振込】

三井住友銀行 大和支店 普通 1368176
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
横浜銀行 中央林間支店 普通 6008076
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
ゆうちょ銀行 振替口座 00210-5-46744
(特非)教育支援グループ Ed.ベンチャー

他金融機関からの振込用口座番号 ○三九(ゼロニキュウ) 当座 0046744

お問い合わせ先 Ed.ベンチャー事務局

〒242-0007
大和市中中央林間 3-16-12
グリーンコーポ中央林間107
(小田急江ノ島線「中央林間」駅西口徒歩5分)
TEL & FAX 046-272-8980
メールアドレス
toiawase@edventure.jp
ホームページ
https://edventure.jp



NPO法人 教育支援グループ Ed.ベンチャー 2023年 活動予定

私たちはこんな活動をしています

- ◆ 外国人や弱い立場の子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学習に遅れる子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学校が必要とするさまざまな支援 ◆
- ◆ 教職員とともに教育を考える活動 ◆
- ◆ 市民とともに教育課題を考える活動 ◆

☆弱い立場の者が大切にされる社会を目指して☆

☆多様な価値観や文化が豊かさにつながることを目指して☆

弱い立場にいる子どもたちの幸せを願って
Ed.ベンチャーが立ち上がってから15年が経ちました。
しかし、子どもたちを取り巻く状況はますます厳しいものになりました。
貧困と格差は拡大し、家族はますます社会の中で孤立しています。
グローバル経済の進行は、子どもたちにさらなる競争を求め
学校も家庭も子どもたちが安心できる場所ではなくなりつつあります。
社会の行く先がますます不透明になり
「不安」ばかりが人々の心を占める時代となりました。
それでも、私たちは粘り強く、子どもたちが「必要とするもの」を提供するために
これからも取り組みを進めていきます。

2023年 学習会中心テーマ 女性の生きづらさ・語る場づくり・平和の守り方

※詳しくは見開き中央をご覧ください。



2023年4月からの活動予定

※変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせ
わせいただくか、ホームページをご覧ください。

学校支援事業

●理論学習会〈対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド〉

メインテーマ 「捨てられない学校に変わっていくために」
参加者と、次の問いを議論することを通して、学校が置かれている状況や課題を整理し、改善に向けてどのようなことができるかを探っていく。

問い①: 子どもの多様性に寄り添う「個別最適な学び」とは何か、個別の学びをどのようにして集団の学びにしていくか、また、その中で子ども一人ひとりの学びをどのように保障できるか。

問い②: 母親への要求が高いのはなぜか、女性が抱える生きづらさの背景にあるものは何か、母親が置かれている状況を理解することで、母親(保護者)と学校が、共に子どもを支えることを目指す。

問い③: ICT 機器が導入され、子どもたちは授業を動画で分かりやすく学ぶことができる。では、教師だからこそできることは何か。教師に必要な専門性、果たすべき役割とは何か。

- 4月29日(土) 13:00～15:00
“個別最適な学び”をどう捉えるか
- 6月17日(土) 13:00～15:00
押し付けられる母親像～女性の生きづらさの観点から～
- 8月26日(土) 13:00～15:00
授業づくり「個別の学び」を「集団の学び」にするには
※各自で授業実践を行い、その報告をもとに議論します
- 10月28日(土) 13:00～15:00
テクノロジーが進歩しても、教師だからこそできることは何か
- 12月16日(土) 13:00～15:00
教師の専門性を高めるには、どのようなことができるか
※参加者が実践したいことを考え、持ち寄りませ

●外国人の子ども理解のための学習会

【学習会】と【事例研究会】の二本立てで、外国人の子どもへの理解を深めていきます。

【学習会】対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド

- 4月25日(火)19:00～21:00
講演会:「外国人の子ども自己形成～対話の持つ意味～」
講師:宮崎あゆみ氏(日本女子大学学術研究員)
清水睦美氏(日本女子大学教授)
- 8月4日(金)13:00～17:00
講演会:「外国人が抱える家族の葛藤～女性に焦点を当てて～」
講師:宮崎あゆみ氏(日本女子大学学術研究員)
清水睦美氏(日本女子大学教授)

【事例研究会】オンライン(Zoom)月1回(1・4・8・12月は除く)全8回

- 水曜日開催 19:00～21:00 2・5・7・10月
- 土曜日開催 13:30～15:30 3・6・9・11月

Ed.ベンチャーでは、10周年と15周年に、活動の記録を刊行しました。
ご興味のある方は、toiawase@edventure.jpまでお問い合わせください。



15周年表紙



10周年表紙

●インクルーシブな社会を目指す学習会〈オンライン(Zoom)〉

柱1:「優生思想」と新自由主義の下で広がる格差。前者については、私たちが気づかない「優生思想」につながる考えを持つことについて批判的にとらえ直し、後者については特に「家出をする女の子」の語りにも焦点を当て、「家」や「学校」という制度を批判的に捉え直したいと考えます。

柱2:身近な取り組みからインクルーシブな社会を目指す一歩を見つけ出したい。特にタブー視される「性」の問題を、子どもたちの経験に寄り添った対話の中で解きほぐすという実践に注目します。

柱3:私たちが目指すインクルーシブな社会を、私たちは子どもたちにどのように伝えていくことができるのだろうか、という問いのもと、1時間の道徳の授業を想定した授業実践を提案します。

- 5月23日(火)19:30～21:00
学習会:「日常生活に潜む優生思想について考える
—インクルーシブな社会に向かう時の大きな壁—」
講師:松浪めぐみ氏(世界人権問題研究センター登録研究員)
- 7月6日(木)19:30～21:00
学習会:「家出する女の子は何を語るのか 一家のこと、学校のこと」
講師:橘ジュン氏(特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表)
- 8月22日(火)19:30～21:00
学習会:「対話の中の性教育」
- 10月5日(木)19:00～21:00
学習会:「地域と学校の連携」
講師:漆原豊和氏(児童養護施設職員)／西岡 歩氏(中学校教諭)
- 10月12日(木)19:30～21:00
授業研究会:「インクルーシブな社会を目指す授業実践提案」
- 11月30日(木)19:30～21:00
授業研究会:「インクルーシブな社会を目指す授業実践報告」

2023年度の核となるテーマ

前半:女性の生きづらさ・語る場づくり

貧困・労働問題・家族の問題など複数の問題がクロスするところに、現在の女性の生きづらさが浮かび上がってきます。各事業で語る場を継続しながら、社会と個人をつなぐという観点で、掘り下げてみたいと思います。各事業では、このテーマを正面に据えた活動を行います。

後半:平和の守り方・語る場づくり

2022年世界は、国際秩序の崩壊と軍事産業による経済の活性化に向かって大きく舵を切りました。「すべての人が戦争で命を失ってはいけない。だから私たちは平和を守らなければならない」という、教育現場で当たり前子どもたちに伝えてきたことが、「私たちが命を失わないために、他の国の人の命を奪ってもよい!」「これが平和の守り方です」に変わろうとしているのです。この転換にどのように向き合うのかという課題に取り組んでいきます。

外国人支援事業

●子どもの居場所・学習支援教室 (エステレージャ・ハッピー教室)

【日時:毎週土曜日10:30～12:30 場所:大和市立林間小学校など】

外国にルーツのある子どもの居場所作りと学習支援を行います。家庭や学校の話や丁寧な聞いて可能な範囲で支援をしたり解決を図ったりしながら、学習の支援をしています。
小中学生が共に体験したり学んだり話し合ったりすることを通して、異年齢の仲間と協力し、お互いの考えを知り自分の考えを深められるように、集団で学ぶ時間を設けています。

〈小学生教室〉

学習や遊びを通して子ども同士の関わりが深まるように促していきます。宿題の他、国語・算数を中心に学年ごとの習得すべき内容の教材を用意して支援します。

〈中学生教室〉

丁寧な説明を加えながら学習を進め、学習内容の理解を深めていくようにします。
定期テストや高校受験のための特別な支援も行います。2,3年生向けに、先輩の経験から進路について学ぶ機会を持ちます。

〈母語教室〉

子どもたちの母語の維持、獲得のために、母語話者スタッフあるいは外部講師による母語教室を定期的に開催します。



普及啓発事業

●教育相談

学校・教師・行政・子ども・保護者・外国人当事者・支援団体等の各種相談に応じています。これらの相談事業をとらえて、当事者のニーズの把握と必要な支援を行うための事業の展開も検討していきます。
ご相談のある方は、気軽に事務局にお問い合わせください!一緒に考えていきましょう!

●多言語若手通訳者派遣

若手の通訳者の育成を目的として、多言語の通訳者派遣を行っています。経験が浅い部分を、Ed.ベンチャーのスタッフが通訳場面に付き添ったり、事前事後にフォローしたりします。今年度は、スペイン語・ベトナム語・カンボジア語・タガログ語の4言語の若手通訳者の派遣を行います。通訳・翻訳が必要な場合には、HPに申込書等がありますので、そちらをご覧ください。

●広報紙「Ed.ベンだより」の刊行

隔月で広報を刊行しています。「世界の視点を持って私たち自身の足元を見つめ、世界の動向を視野に入れつつ、足元の活動に取り組む」という目標のもと、現状分析に力を入れています。2014年の発行から9年で55号を数えています。今年度も、事業の案内や報告とともに、教育にかかわる社会状況を分析するための視点をお届けしたいと思います。既発行分はHPでご覧になれます。

